

〰〰〰 編集後記 〰〰〰

今回の「京浜歴史年報」には、論文二本と研究ノート一本を掲載いたしました。たいへんお忙しい中で論文を執筆・寄稿して下さいました新井揆博氏・奥田晴樹氏には、厚く御礼を申し上げます。伊東富昭氏の研究ノートは、一九九七年二月例会から開始された当研究会の「『神奈川県史』を学ぶ会 大正・昭和編」の成果の一部です。

また、「年報」第八号（一九九四年二月）に掲載されて以来、間があいてしまいました。一九九三年一月から一九九八年一月までの「学習活動一覧」を掲載しました。この間の当会の活動記録をみて、かつて研究担当であった私は、今後の課題の多さを改めて実感しました。今後の学習活動においては、より精緻な実証作業はもとより、都市史の解明のために必要な方法論などの理論的な検討もさらに深めていく必要があると思われれます。また、研究対象とする歴史事象も、現在に近付けば近づくほど、それは複雑なものとなるため、共同研究の重要性が増すとともに、その質が問われていくと考えられます。

これらの課題を例会・集中研究会その他の学習活動の中で一つ一つ解決するとともに、次号以降の年報では、その成果を掲載していきたいと考えております。今後とも、読者諸氏の忌憚のない御批判を乞う次第です。

（松田隆行）

京 浜 歴 史 科 研 年 報 第 一 三 号

発行日 一九九九年一月二四日

編集・発行

京浜歴史科学研究会

〒二三三—〇〇〇六

横浜市港南区芹が谷五—五九—一二

大湖賢一方 Tel〇四五—八二五—三七三六

（郵便振替口座 〇〇二七〇—八一—一五五三五）

印刷 合資会社 横 浜 大 気 堂

横浜市中区真砂町四—四〇